

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		食育推進事業						予算事業名		食育推進事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	食育基本法					
				04	01	03	2302	経常経費							
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分		主要事業					
		健康長寿で安心できる暮らしづくり													
		健康づくりの推進						担当課係等		健康増進課 健康増進係					
事業期間		継続 (平成 2年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
地域、各種関係団体等と協働し、市民が健全な食生活を実践できることを目指す。								食育基本法に基づき平成26年3月に策定した「結城市食育推進計画」に基づいて実施							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
食育の普及啓発 ・食育推進委員会の開催：庁内の食育関係課の連絡・調整機関（講演会・ポスター展示等） ・食育講演会：食育に関する講演会を開催し、知識の普及を図る。 ・食育推進啓発ポスター募集・展示：市内小・中学生から作品を募集し、展示する。								市民							
								【事業をとりまく環境の変化】 平成27年度に国・県ともに食育基本計画（第三次計画）を策定した。平成29年度に、食育推進計画を含む第2次結城市健康増進計画を策定した。							
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】							
・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成				・食育推進委員会の開催 ・食育講演会 ・食育推進啓発ポスター募集、展示、ポスター作成							
■事業費															
				R03年度		R04年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	258	347								
歳入計 (千円)				258		347									
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)								
	07	報償費			248		278								
	10	需用費			10		20								
	13	使用料及び賃借料			0		49								
歳出計 (千円) (A)				258		347									
伸び率 (%)						34.49									
備考	総合計画49ページ 予算書114ページ														

# 令和 3年度行政評価シート

## ■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	食育推進委員会開催回数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	健康増進課、給食センター、農政課、子ども福祉課、学校栄養教諭で組織 食育の推進について協議する		実績	3.00	0.00	0.00
	食育講演会の開催	回	目標	3.00	1.00	3.00
	対象について隔年で一般市民と中学生を交互に実施する		実績	3.00	0.00	0.00
成果 指標	食育講演会参加者数	人	目標	1,000.00	200.00	1,000.00
	食育講演会の参加延べ人数		実績	681.00	0.00	0.00
	食育啓発ポスター応募者数	人	目標	200.00	200.00	200.00
	食育推進の一環として小中学生に対し、ポスター公募を行う		実績	356.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	すべての世代に正しい食の普及・啓発が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	食育基本法において食育推進の実施主体は市町村と定められている。
	手段の妥当性	A 妥当である	食育の普及・啓発の手段については、推進委員会で協議し決定する。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	コスト効率は高いが、全市民に対しては食育に対する理解度を把握できていない。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	講演会（中学生・一般・職域連携）を絞って講話のテーマを決めた方が効果的と思われる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	講演会受講者については、食に関心を持てたという声が聴かれるため、繰り返すことで成果が上がる。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	食育講演会での中学生対象の場合には、ほぼ全生徒に対して実施できており、食育ポスターの応募数が増加していることから食育が普及していると感じる一方で一般市民を対象にした講演会では参加者に偏りがみられ、一部の市民へしか啓発できていない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
食育に関しては市民の意識に浸透するには相当の時間を要するものと判断するため、講演会等の開催について計画的に実施していく必要がある。特に子どもへの影響を考え、大人（保護者等）への食育啓発方法も検討する必要があると考える。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
行政機関及び教育機関との関係の強化を図り、市民に対する意識付けとして、小学校・中学校・高等学校などの次世代を担う者に対し、積極的に取り組む必要がある。			

## ■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 多くの市民が食育について関心を持ち生活できるよう、保育・教育関係者等と連携し、食育に関する啓発活動を充実し、より効果的な事業を実施する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	